



# すずしろ

～開拓・発展・完成～

11月 第7号

令和4年 11月 30日

開進第四中学校だより

校長 田邊克宣

## 『心をこめた挨拶で、バリアフリーの世界を作る。』

11/29(火)の第1学年「社会福祉講話」では、パラトライアスロン世界選手権金メダリストの中澤隆様をお招きしました。壇上では盲導犬のシュクレ(ラブラドル 3歳)が寄り添い、温かい雰囲気の中で講演会が始まりました。

ご本人が27歳で視覚障害をもってから、アスリートとして世界を目指し、チャンピオンとなった経緯は、聞いている私たちに勇気と希望を与えてくれました。生徒たちはパラトライアスロン大会の動画を食い入るように見ていました。

視覚障害に係る事柄としては、盲導犬の仕事は「角と段差を教え、障害物をよける」の3つで、カーナビのように目的地までの案内をするわけではないことや、また、信号の判断もしないので、信号待ちをしている人には「赤ですよ。」等の声掛けをすると安心できることなど、生徒たちは初めて知る内容に真剣に聞き入っていました。盲導犬の仕事中は、声をかけたり、なでたり、エサをやってはいけけないので、まずは飼い主に聞いてみてということも教わりました。

そして最後に、バリアフリーについてのお話がありました。

道路や建物の段差、飲食店等での受け入れ拒否、かわいそうという偏見、こうした物理的、心理的なバリアから解放されることで、「障害があってもなくても暮らしやすい世の中」を作っていこうという呼びかけは、生徒たちの心に響いたことと思います。

今回の講話が、視覚障害や盲導犬だけでなく、広く障害に対する理解を深め、実際に行動していく一つの契機となることを願っています。

さて、28日(月)から、生徒会による全校挨拶運動が始まりました。各国の挨拶を日替わりで行い、火曜日の今日は、朝から「アンニョンハセヨ」と元気な声が昇降口から聞こえてきました。それが昼には「アンニョンハシムニカ」と替わっていたのは、さすがです。

28日に開いた学校評議員会では、本校評議員の方々に校内の様子もご案内いたしました。生徒たちの授業に臨む姿勢や、廊下に張り出された校外学習・職場体験新聞等の掲示物をご覧になり、日頃から真面目に一生懸命取り組んでいることについて、お褒めの言葉をいただきました。協議会では、挨拶についても話題に上りました。挨拶は、相手を敬う気持ちが大切であり、今の開四中生はその点についてどうかという意見交換をいたしました。

挨拶は、心を開く第一歩です。挨拶をしたから終わりではなく、挨拶をすることで、自分の心の玄関を開き、相手を受け入れ、そこからコミュニケーションが始まるのです。そこには、相手を敬い、尊重するという意識が欠かせません。その気持ちを込めるために、声の抑揚や大きさ、表情が大切な要素となります。

心理学におけるメラビアンの法則では、会話における言語情報の占める割合は7%であるということです。例えば眉間にしわを寄せて「おはよう」と言ったとすると、相手にはどのように伝わるかを考えれば、分かりやすいと思います。私たちは、互いに顔を合わせ、面と向かって言葉を交わすとき、その時々その声の抑揚や表情、身振り手振りまですべて含めて、自分の思いや考え、意見を相手に伝えています。そ

うしたやり取りの中で、相手とのコミュニケーションを図っていくのです。

自分の物言いがどのように相手に伝わるか、果たして真意を伝えられているか、それは、体験的に学ぶしかありません。たった一言で思いがすれ違ってしまうこともあるけれど、それを修復できるのもまた、言葉の力です。相手を認め敬う言葉を選び、言葉を尽くすことで、豊かなコミュニケーションのあふれる社会が作られていきます。挨拶のよさを褒められる開四中を、次のレベルにアップさせるために、生徒も教職員も、互いに気持ちを込めた挨拶を交わしていきましょう。そして、家庭、地域とともに、温かい挨拶を交わす開四中学校区を作っていきましょう。

今年もあと一月、コロナとノロとインフルエンザには、予防対策で先手必勝を期し、子供も大人も元気に過ごしていきましょう。

## 部活動の実績

### ●バレーボール部 練馬区中学校バレーボール区民大会 1日目(予選)

東京女子学院中、光が丘第二中と対戦し、1勝1敗で2位という結果でした。翌週も決勝大会が続いていきます。引き続きご支援ご声援の程よろしくお願いいたします。

1試合目 東京女子中 0-2 (5-25、4-25)

2試合目 光丘二中 2-1 (25-22、23-25、25-18)

### ●吹奏楽部 活動実績

- ・オータム銀座 秋の銀座交通安全ゴールデンパレード  
第53回ゴールデンパレード2022 出演



- ・江古田ゆうゆうロードイベント 出演

